

12月15日(日) 14:00~16:00

大阪・PLP 会館 4階 小B会議室

参加費：1000円 学生500円



私たちの明日

ビルマ・ドキュメンタリー上映会&講演会

—ビルマ難民キャンプ

大阪市営地下鉄堺筋線 扇町駅4番出口より徒歩3分
JR 大阪環状線 天満駅改札口より南側へ徒歩5分



民政移管が進むビルマ。日本をはじめ、ビルマの経済を支えようと経済界の進出が相次いでいます。政治囚が解放され、新聞などメディアも自由に取材や刊行物を発行できるようになり、政治的意見もおおっぴらにできるようになったと言われるビルマ。しかし、今回ドキュメンタリーを制作され、講演をされるココラットさんはじめ、在日ビルマ人のほとんどは日本に残り、難民認定を待っている人も多くいます。

在日ビルマ人でさえこの状況である中、ビルマ・タイ国境の難民キャンプの人々が大挙してビルマに帰還したという話は一向に聞きません。

どうして帰れないのでしょうか。ビルマ・タイ国境の難民キャンプで暮らすビルマの人々は、子どもたちは何を見つめ、考えているのでしょうか。

難民キャンプとビルマの今を、ドキュメンタリー映像とお話で聞きます。

主催：日本ビルマ救援センター (BRCJ)

RAFIQ (在日難民との共生ネットワーク)

協力：ビルマ民主化支援会 (SCDB)

問い合わせ：rafiqtomodati@yahoo.co.jp



ココラットさん
プロフィール

1980年代、軍政下のビルマで全ビルマ高校学生連盟書記長として民主化運動をすすめる。軍による逮捕・監視をうけて国外へ。2001年に政治難民認定。日本でも民主化と難民キャンプの教育支援活動を続け、2010年より国境地帯のビルマ難民キャンプを取材してドキュメンタリー4本を制作。

<http://www.scdb.org/> (予告編あり)